



JA東京アグリパークでこだわりの青果物や加工品をPR 新宿に関東甲信越のうまいものが大集合！

秋の収穫祭!!「関東甲信越うまいもの大集合WEEK」

- 期日：11月20日(火)～23日(金)
- 場所：JA東京アグリパーク
- 主催：関東甲信越地区農協青年組織協議会
- 内容：各関東甲信越地区の旬の青果物や加工品のPR及び販売

■関東甲信越の各JAが日替わりでこだわり商品をPR！

新宿駅南口を出てすぐにある JA 東京アグリパークで「秋の大収穫祭!!～関東甲信越うまいもの大集合 WEEK～」が開催されました。初日の11月20日は栃木県・長野県、21日は栃木県・神奈川県、22日は茨城県・群馬県・埼玉県、最終の23日は千葉県・東京都・新潟県のそれぞれのJA青壮年部員がこの時期オススの青果物や加工品のPR及び販売を行いました。

長野県からは信州味噌と信州太郎ポークのコラボレーション商品「信州おやき みそぼーくまん」や餅米の本来持つ粘りが出るようにさまざまな工夫を施した「色男の力もち」等、埼玉県からはサラダやきんぴら等6種類のレシピを添えた人気急上昇の青パイヤや様々な青果物、栃木県からはスカイベリー100%の無添加贅沢ジュース「Sky Berry Drops」や日本一の生産量を誇るJAはがの産「とちおとめ」等、茨城県からは若手農家が主体となって結成した米粉麺の生産組織「TSUNEZUMI 麺'S」で開発した県産コシヒカリ100%で作る新タイプのお米の麺「穂々の空」等各県自慢の様々な青果物や加工品を積極的にPRしました。

■群馬県からキウイフルーツや下仁田ねぎ等をPR！

群馬県からは、JA群馬青協の町田委員長をはじめ、JA甘楽富岡とJAたのふじの青年部員が多数訪れて、当管内の青果物や加工品をPRしました。

入り口では、群馬県産キウイフルーツの試食宣伝及び販売が行われました。群馬県内では甘楽・富岡地域が最もキウイフルーツの栽培が盛んで、酸味と甘みのバランスが優れた当管内の主力品種「ヘイワード」をPRしました。今年は夏季の高温と干ばつから果実の肥大が鈍く、平年に比べるとやや収量が少なくなりますが、例年行っている収穫前の果実糖度検査では平年並からそれ以上の糖度を示しており、平年並の11月21日から出荷が始まっています。

また、しらたきや玉こんにやく等の各種こんにやく製品やきゅうり・キャベツ・ターサイ・リーフレタス等の野菜も販売されていましたが、この時期から出荷が始まっている下仁田ねぎがひとときわお客様の注目を浴びていました。今年は夏季の高温干ばつで土寄せ等の管理作業が大変でしたが、その後の好天と気温高から肥大は回復し前進傾向で出荷が行われているとのこと。



JA東京アグリパーク店頭



群馬県PRポスター



キウイフルーツの試食宣伝



JA甘楽富岡産「下仁田ねぎ」